公式記録

平成25年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会　準決勝【 45 】

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日時	2013 年 11 月 4 日（月） 11 ： 00 キックオフ	会場	アスパ五色 メイングラウンド
天候	晴れ　風 弱風　ピッチ (天然芝)・人工芝・クレー	状態	良好　試合形式 80 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
マッチコミッショナー	辺見 康裕	会場主任	堀口 泰司
記録	田村 孝次 ／ 石塚 健二	観衆	700 人
主審	赤沼 潤也	副審1	大前 毅
副審2	正徳 篤樹	第4の審判員	吉本 忠義

チーム名				チーム名
神戸国際大学附属高校	1	前半	0	神戸市立科学技術高校
kick off	0	後半	0	
		延前		
		延後		
		PK戦		
	1		0	

選手番号	PK戦	PK戦	選手番号
	○× 先	先 ○×	

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					寺地 一貴 3年	1	GK	GK	1	西岡 佑馬 3年					分	
	分					西村 柊哉 2年	6	DF	DF	2	中西 祐樹 3年					分	
	分					森本 翔太 3年	(4)	DF	DF	3	松井 瑠生斗 2年					分	
	分					伊勢 渉 2年	5	DF	DF	4	岩原 良 3年	1				分	
	分				1	岡本 翔 3年	3	DF	DF	20	樋口 泰聖 2年					80+3 分	
	分			1		平田 克之 3年	17	MF	DF	5	和田 翼 3年		2			分	
	分					上原 健司 3年	7	MF	MF	7	石倉 成輝 3年		1			分	
	分				1	原 純平 2年	8	MF	MF	8	竹内 友規 3年	1				分	
	分			2		佐久間 陸 2年	2	MF	MF	16	川邉 勢生 3年	2				HT 分	
	分			3	1	黒石 貴哉 2年	10	FW	MF	9	佐々木 翔多 3年					HT 分	
	64 分				2	久米 史人 3年	11	FW	FW	(10)	小野 翔太 3年					分	
	分					後藤 和輝 3年	12	GK	GK	12	大林 航太 3年					分	
	分					熊本 裕哉 3年	24	DF	MF	6	鈴木 康弘 3年		1			分	18
	分					野上 一誠 3年	23	DF	FW	11	新福留 夏輝 3年		1			分	9
	分					先田 隼基 3年	14	DF	FW	13	丸山 祐大 2年					分	20
	分					中村 憲吾 2年	20	MF	DF	15	岩崎 優 3年					分	
	分					平島 一成 1年	19	MF	MF	17	出口 純平 3年					分	
11	80+3 分					南 湧樹 2年	22	FW	MF	18	大畑 圭市 3年					60 分	16
	分					山本 龍也 3年	15	FW	MF	19	山本 将 2年					分	
22	分					二階堂 廉 3年	13	FW	MF	21	上山 俊介 2年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由
59 分	警	11	久米 史人	ラフ

合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計
11			6	5	シュート	4	5			9
11			6	5	ＧＫ	8	4			12
9			1	8	ＣＫ	0	3			3
8			5	3	直接ＦＫ	5	2			7
2			1	1	間接ＦＫ	0	1			1
0			0	0	ＰＫ	0	0			0

時間	警・退	No.	氏名	事由
分				
分				
分				
分				
分				
分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
31 分	神戸国際附		オウンゴール	1 － 0	右 CK ⑧ ∩ GK オウンゴール
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属【 加古川北・御影 】　氏名【 井上・小林 】

神戸国際附４－４－２，神戸科技４－２－３－１のシステムでスタートする。細かいつなぎの中から右サイドを起点に攻撃を組み立てる神戸国際附に対して、中盤でブロックを組み立て、守備から素早い攻撃を仕掛ける神戸科技。両チームチャンスを作るがシュートの正確性を欠き得点することができない。神戸科技の強固な守備陣をこじ開けたのは神戸国際附のセットプレーだった。CKから先制点を挙げた神戸国際附が後半に入ってからも主導権を握るゲーム展開が続く。１点を追う神戸科技はロングボールを多用しセカンドボールを奪い得点を狙おうとするが高さと強さに勝る神戸国際附DFに封じられた。1対1の強さと連動した守備から早い攻撃をベースに勝ち上がってきた神戸科技は今大会ここまで無失点の神戸国際附をあと一歩の所まで追いつめた。

［備 考］